

松山まちなか瓦版

No. 10

発行 / 松山市中心市街地活性化協議会
■松山商工会議所 TEL 089(941)4111
■まちづくり松山 TEL 089(998)3533
Mail m_central2007@canpan.info
発行日 / 2011年3月25日



市長への提言を終えて
みんなで記念写真▶

みんなのまつやま夢工房 にぎやかな街中の再生をめざして

“みんなのまつやま夢工房”この夢のある名前の事業は、1つのテーマについて、市民メンバーが主体となり、行政職員と協働で約1年間にわたって学習や調査、話し合いを行い、自らの考えをまとめ、市長に提言を行うワークショップ（共同研究活動）事業です。平成22年度は“消費者目線で街中の賑わいを再生しよう！”をテーマに15人のメンバーが、街中の賑わい再生のための計画等を検討し、平成23年1月18日に市長へ提言を行いました。市民の方たちが考えた松山の市中心市街地の活性化策を紹介します。

赤レンジャー8班

● 賑わいがありホッとできるような空間づくり

- ・販売業種や品目の増加、ナショナルブランド・高級ブランド・ファストファッションブランドの誘致
 - ・地域資源を積極的に取り入れた店舗の充実、老舗の復活
- 大街道の入口に魅力的な建物があれば、ロープウェイ街にいる観光客を引き込むことが可能
- 駐輪場、駐車場の値下げ（無料化含む）
- 自転車専用レーンの設置
- 移動式駐輪システムの採用
- ・大型駐車場建設、位置サービスの提供・設置

● 来街者サービスの向上

- ・シャトルバスの運行、宅配サービス、荷物の預かり、カートの設置

● 多目的公衆トイレ、休憩施設、育児施設、待ち合わせポイントを拡充することで、より快適なまちの形成

- ・「おいでんか」の復活やベビーカーの貸出・休憩施設、育児ルーム・多目的公衆トイレ・待ち合わせポイントを拡充

● 二層式の立体通路の建設

- ・商店街内に二層式の立体通路を設置
- ・大街道入り口の交差点全体を立体化に

● イベント広場の創設とイベント内容の充実

- ・大手企業・地元企業とのタイアップ

● マップ、インターネットなどの広告媒体を活用

● 道路使用規制などの見直しと統一

- ・ワゴンを道路に出すなど、店内に入らなくてもどんな店かが分かるようにする

● その他

- ・空き店舗を埋めるために、テナントを誘致
- ・個性的な街並み景観整備
- ・オープンカフェ、複合店など、多様な業態の店舗を混在
- ・愚太郎庵のような文化施設などの建設
- ・ゴミ拾いなど、気持ちよくお買い物ができる環境づくり
- ・ロープウェイ街・大街道・銀天街・まつちか・デパートの協力体制の強化や情報交換・情報共有のしやすい環境を整備

キラキラ班

提言1 街を文化の発信基地にしよう！

1. 中央商店街へ市民ホール、多目的ホールを設置
 - ・イベントに参加し、買い物や食事をしてもらう
 - ・NPO向け事務所の集積として利用する
2. 大街道、銀天街の交差地点（L字部分）に市民広場を設置
 - ・無料でライブ、イベント使用ができる
 - ・会場や音響装置の無料貸出サービス
3. 空店舗の活用
 - ・チャレンジショップ機能の増加
 - ・業種ごとのチャレンジショップ
 - ・3ヶ月毎に店舗変更

提言2 ハード面からの提言

1. 清潔な公衆トイレの設置
2. くつろげるスペース
 - ・テーブル、椅子の増設

提言3 ソフト面からの提言

1. ショッピングカートで回遊できる
 - ・商店街どこでもカート乗り捨てできる
 - ・広場でベビーカーや荷物の預りサービス
2. 安全性の確保
 - ・街に警備員を配置
 - ・安心して買い物ができる
3. 日用品の品揃えが充実した店舗を誘致
4. 商店街に一体感を出してもらう
 - ・共通ポイントサービスや大手ショッピングセンターとの連携カードの導入
 - ・商店街共通Tシャツやフラッグで一体感を作る



▲キラキラ班の発表



▲赤レンジャー8班の発表

松山市中心市街地活性化協議会・総会開催

●日 時／平成23年3月7日(月)13:30～ ●場 所／いよてつ会館 5階 クリスタルホール

去る3月7日、松山市中心市街地活性化協議会の総会が関係者約50名の出席のもと開催されました。

今回の議案は、正副会長、監事の選任のほか、平成22年度事業報告と収支決算、平成23年度事業計画と収支予算が提案され、協議の結果、承認されました。会議では、今回の総会にて再任された佐伯要会長(松山商工会議所・副会頭)より、景気の低迷の中、ますます厳しくなる中心市街地にぎわいづくりをより多くの人の協力を得ながら進めていきたいとあいさつがありました。

また、松山市からは、中心市街地活性化基本計画に追加される新規事業をはじめ、一部変更のあった事業に関する説明があり、計画の進捗状況が報告されました。



平成23年度 松山市中心市街地活性化協議会事業計画

I. 会議

(1) 総会

年2回の定例総会を開催する。



(2) 運営会議及び個別プロジェクト検討会議

運営会議は、中心市街地活性化協議会の運営・活動等について協議する。



個別プロジェクト検討会議は、個別プロジェクトの実現化等について協議・調整をする。

II. 事業(平成23年度)

(1) 個別プロジェクト掘り起し事業並びに協議会実施事業

1. まちづくり初動期支援事業

ラフォーレ原宿・松山跡地や三越、香川銀行の共同事業等再開発に向けたフォローアップをはじめ、地区更新モデル調査を活用し、まちの更新に向けて、適地を調査すると共に、再開発等のまちづくりを進める地区において、講師派遣等のまちづくり勉強会の支援を行う。

2. 商業振興対策事業

中心市街地における賑わいを維持・向上させるため、個店診断、若手経営者交流、空き店舗対策等商業振興対策事業を行う。

3. 活動の情報発信

より多くの住民、地権者、事業者等まちづくりへの参加意識の醸成を図るため、ホームページの作成、松山まちなか瓦版の発行など本協議会の活動状況等の情報を発信する。

4. タウンマネージャー、まちづくりコーディネータによる支援

協議会における活動を円滑に進めるとともに、個別プロジェクトに対する支援を行うためタウンマネージャーによる支援を行う。また、まちづくり初動期支援を円滑に推進するために、まちづくりコーディネータを委嘱し、各事業への支援を行う。

5. 中心市街地活性化に向けた新たな事業の掘り起こし

中心市街地の活性化をさらに推し進めるため、松山市中心市街地活性化基本計画に記載できる新たな事業の検討・掘り起こしを行う。

(2) 個別プロジェクトシーズ検討事業

1. 観光振興の検討

中心市街地内においては、松山城・道後温泉・坂の上の雲ミュージアム等の観光資源の他に、魅力ある商店街・飲食店等の商業集積がある。そこで、これらの資源を融合させた回遊性のある観光振興策を検討する。

2. 大街道商店街の空間づくりの検討

商店街アーケード内の快適で魅力的な空間づくりについて、現状の課題を抽出し、統一したまちづくりの方針の基に、路面改修、商業空間の構成など、対応策を検討する。

3. 松山市歩きたばこ等の防止に関する条例の研究・協力

「松山市歩きたばこ等の防止に関する条例」が平成21年12月1日から施行され、中央商店街では歩きたばこ等が禁止となり、松山市全域においても努力義務となった。公共の場において「安心で快適な空間」を目指すため、周知・啓発や分煙方法等について研究・協力を実施する。

(3) 個別プロジェクト事業

(民間主体の認定基本計画に記載されている事業、並びに今後盛り込むため調査・研究を行っている事業への支援)

1. 駐車、自転車誘導・駐輪システム並びに地域カードシステムの研究

来街者の利便性を確保するため、駐車・駐輪場等の施設整備をはじめ、違法駐輪や歩行者の安全確保など自転車空間の在り方について検討する。また、これと連動し、地域内の消費者の利便性向上と地域の活性化を図るために、地域カードのシステム構築について、その可能性や導入方策等を研究・調査する。

2. お城下まつやまプロジェクトへの支援

中心市街地の活性化の新たな取組みとして商店街、百貨店、飲食店等を中心に設立された「一般社団法人お城下松山」が実施する各種プロジェクトについて支援を行う。